

望月小唄全国祭

今年で5回目を迎える望月小唄全国祭が、5月4日、駒の里ふれあいセンターで開催されました。

唄の部門、踊りの部門に分かれたコンクールのほか、ゲストに小諸馬子唄全国大会優勝者の渡辺昭山さんやスーパー三味線BOYユータイさんを迎え、会場は大いに盛り上がりました。



合気道演武者が表敬訪問

5月2日、合気道国際演武会を前に、フランス・ドイツなど世界各地の演武者23名が合気道本部道場の遠藤征四郎師範とともに三浦市長を表敬訪問しました。



「神ノ尾米」の会食会

5月10日、御鹿の郷地域ふれあいセンターで、望月地区春日の西久保耕作組合で生産された「神ノ尾米」を使った創作料理の会食会が行われました。

「神ノ尾米」は使用する農薬、化学肥料が生産地域の一般的な栽培方法の使用割合と比べて5割以下である特別栽培米といわれるもので、「健康でおいしい米」として注目されています。



五穀豊穡を願って

4月29日、市の無形民俗文化財にも指定されている「根神社の式三番叟」が春日の根神社で行われました。

舞台では、千歳・翁・三番叟によって神楽が演じられ、集まった見物客は、200年以上続く伝統芸能に見入っていました。

また、舞台終了後には、衣装を身にまとった地元の子どもたちによる記念撮影も行われました。



鯉がとれつ国際交流

5月2日、スロヴァキア共和国と佐久市の鯉料理交流会が上桜井公会場にて行われました。

スロヴァキア共和国では、クリスマスやお祝いに鯉を食べる習慣があり、スロヴァキア特命全権大使夫妻自らフライやスープなどの料理に腕を振るってくださいました。

佐久市からは、地元上桜井区の皆さんがおなじみの鯉のうま煮などを用意し、試食した大使から「母国の友人にもぜひ食べさせたい」と好評をいただきました。



望月昭和百番観音祭

望月地区印内にある望月昭和百番観音で5月3日、今年で18回目となる「春の観音祭」が行われました。

現在は280体ほどの観音が建立されており、夏の盆の時期には一晩中、灯明をともし「千灯供養」も行われています。



平尾山公園植樹祭が開催されました

4月29日、平尾山公園植樹祭が開催されました。

平尾山公園植樹祭は、毎年みどりの日に合わせて、平根地区の地元住民で組織する平尾山開発対策委員会の皆さんにより行われています。

今年は、昆虫が喜んで住みつくエノキの苗木30本を植え、今までに植えた桜の木への施肥や枯れ木の剪定も行いました。